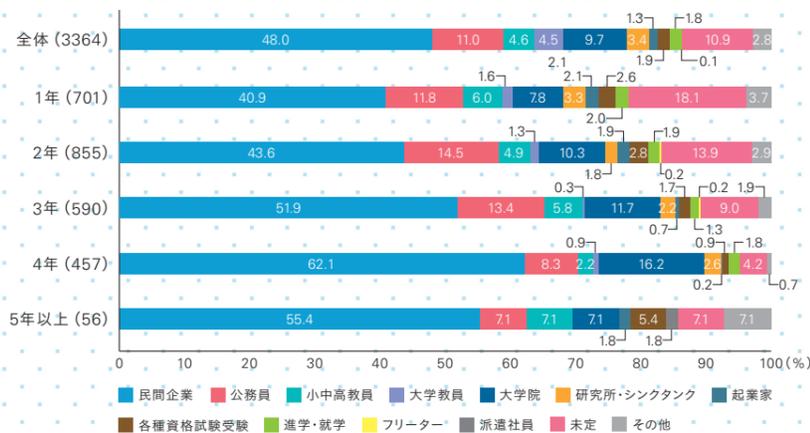


第2章 将来設計 (キャリアプラン) と準備について

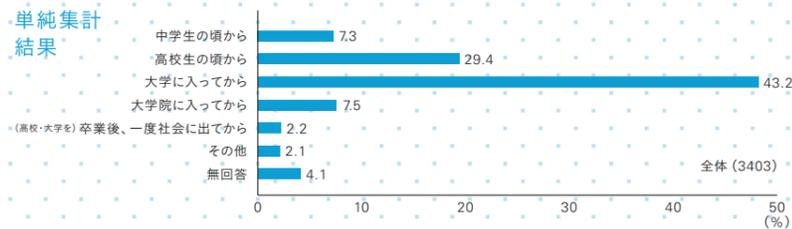
本章では将来設計に関する意識の変化や悩み、キャリアプランを考える上での課題の調査結果をまとめました。

卒業後の進路はどうしたいと考えていますか？



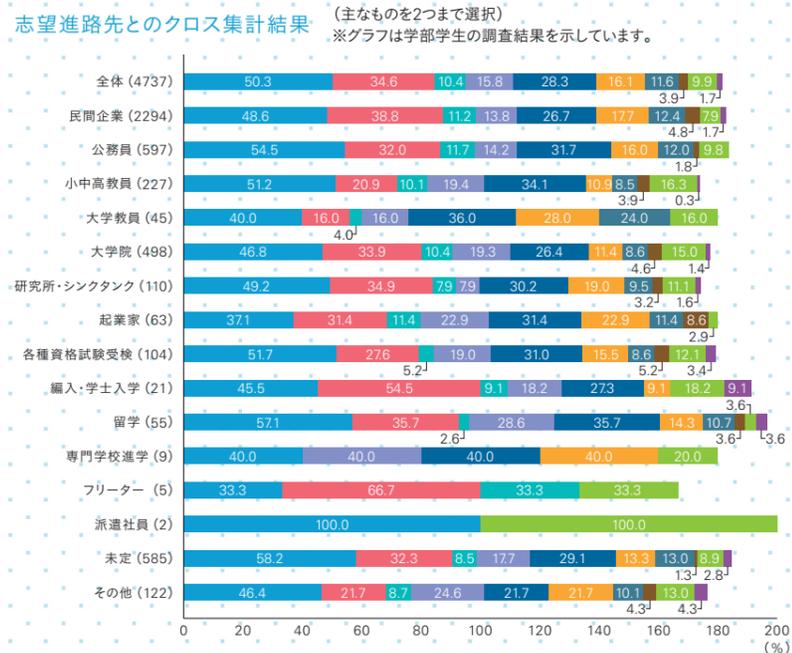
学年が上がるにつれて民間企業志望者は増えています。また、文系の学生が「公務員」を志望する割合は理系(4.1%)に対して約3倍(13.5%)です。これに対して理系の学生が「大学院進学」を志望する割合は文系の約2倍(16.3%)、「研究所・シンクタンク」を志望する割合は文系の約6倍(8.9%)です。

進路を考え始めたのはいつ頃ですか？



進路を考え始めた時期は「大学に入ってから」が43.2%と最も多く、次いで「高校生の頃から」が29.4%、両方合わせると約73%を占めています。これは過去4年間も同様です。

もしあなたがインターンシップを行うとすれば、インターンシップについて不安になる・躊躇する要素はありますか？



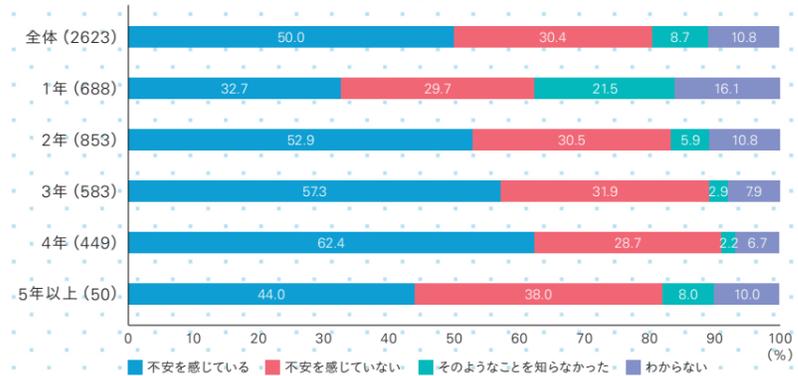
インターンシップに参加するにあたって不安になる要素としては、進路志望先の如何にかかわらず「どんな制度や受け入れ先があるのかわからない」が最も多く、次いで「どれが自分に有効かわからない」「自分の能力」が多いようです。

(注) 経団連は9月13日に、「3年生の3月解禁、4年生の6月選考開始」に繰り下げる新ルールを2016年卒となる現在の2年生から適用することを発表。

現在、2016年卒となる現在の2年生から、「就職活動を3年生の3月解禁、4年生の8月選考開始」に遅らせることが検討されていますが、これについてどのように感じていますか？

3年生以上の方は、ご自身がそのような状況に置かれたことを想定して回答してください。

※グラフは学部学生の調査結果を示しています。



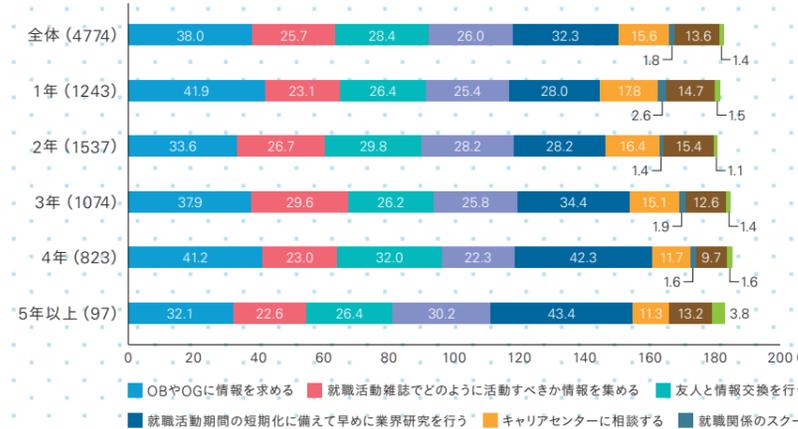
全体的に見ると、学部学生の半数が不安を感じています。特に2年生から4年生までは「不安を感じている」割合が最も高くなっています。逆に「不安を感じていない」の割合はどの学年も約3割を占めています。

また、「そのようなことを知らなかった」の割合は2年生から4年生までは5%以下で、この問題への関心の高さを示していますが、1年生では21.5%と4倍以上も高いのが特徴です。

現在、2016年卒となる現在の2年生から、「就職活動を3年生の3月解禁、4年生の8月選考開始」に遅らせることになった場合、自分としてどのように対応しようと考えていますか？

3年生以上の方は、ご自身がそのような状況になった場合を想定して回答してください。

(主なもの2つまで選択) ※グラフは学部学生の調査結果を示しています。



どの学年においても「OBやOGに情報を求める」の割合が最も多く、次いで「就職活動期間の短縮化に備えて早めに業界研究を行う」「就職関連雑誌などでどのように活動すべきか情報を集める」「Webでの情報収集を行う」「友人と情報交換を行う」が多くなっています。それに対して「キャリアセンターに相談する」の割合は第6位です。

進路を考え始めた時期は「大学に入ってから」が最も多く、過去4年間も同様です。ちなみに、学部4年生で卒業後の進路が「未定」は過去6年間で昨年は最も低い値でしたが、今年は2年前(2011年)とほぼ同レベルでした。

採用選考時期を「3年生の3月解禁、4年生の8月選考開始」に繰り下げる就職活動の新ルールが2016年卒となる現在の2年生から適用されることについては学部学生の半数が不安を感じており、特に2年生から4年生は関心が高くなっています。その

一方で1年生は「そのようなことを知らなかった」の割合が2年生の4倍以上も高いのが特徴です。

また、現実に就職活動時期が変更された場合、「OB・OGへの相談」や「早めに業界研究を行う」という回答が多く、「キャリアセンターに相談する」の割合は第6位でした。キャリアセンターでは進路選択の検討に役立つさまざまな情報を提供し、相談にも応じていますので、これらを積極的に利用することをお勧めします。